

ワツくん健康通信

平成 30 年 7 月 発行 / 第 38 号 発行元：鶴見福祉保健センター

夏の旅行前に！！

麻しんの予防と対応について知ろう

麻しんは、麻しんウイルスによって起こる病気です。麻しんは、感染力がとても強く、重い合併症にかかる場合もあります。世界中でうつる可能性があり、今年、海外からの輸入例を発端とした国内での感染が報告されています。特に、海外および国内へ旅行を予定している方は、渡航先の流行状況についても把握しましょう。

麻しんとは

感染力が非常に強く、空気を介してもうつるので、手洗いやマスクだけでは予防できません。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。



症状

高い熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などです。肺炎や中耳炎になることがあり、まれに重い脳炎を発症することもあります。



予防について

ワクチン接種(一般的には MR ワクチン)が最も有効です。十分な免疫をつけるためには、2 回の接種が必要になります。特に麻しんの流行が報告されている国や地域への旅行を予定している人は、かかりつけ医に相談しましょう。

海外渡航時のお役立ち情報

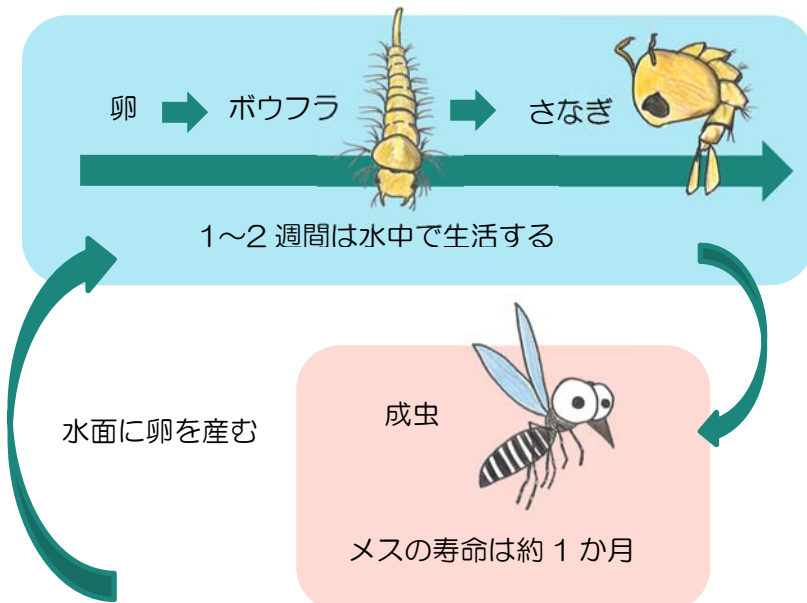
- ◆安全で楽しい旅をするために、渡航前に感染症について、正しい知識を身につけておくことが大切です。
☞FORTH (厚生労働省検疫所) HP <http://www.forth.go.jp/about/O1.html>
- ◆ワクチンで予防できる感染症もあります。出掛ける地域や期間等に応じて接種を検討しましょう
☞日本検疫衛生協会 HP <http://www.kenekiisei.or.jp/vaccination.html>
- ◆帰国後しばらくしてから体調が悪くなったら、事前に医療機関へ電話し、渡航先・滞在期間・飲食物・動物との接触などを伝えてからすぐに受診してください。



蚊の発生を防いで安全・安心！

蚊(ヒトスジシマカ)はデング熱やジカウイルス感染症など、様々な感染症を媒介する可能性があります。蚊を増やさない、蚊に刺されない対策が大切です。

ヒトスジシマカのライフサイクル



蚊を増やさないためには

こんなところに蚊のすみかがあります！



バケツや古タイヤ
などの水たまり



風通しの悪いやぶ

ボウフラ(幼虫対策)

・水たまりや水のたまる空き容器をなくす

成虫対策

・やぶや草むらの手入れをして、風通しを良くする

蚊に刺されないようにするには・・・

●蚊のいる場所を避ける

雑草の茂った場所や湿った風通しの悪い場所でとどまることは控えましょう。

●肌の露出を避ける

蚊の多い場所へ行く時には長そで、長ズボンを着用し肌の露出を避けましょう。

●蚊よけ剤をうまく使う

虫よけスプレー・ローション等がありますが、使用上の注意をよく確認してから使用しましょう。

●蚊の侵入を防ぐ

窓に網戸を設置したり、ドアの開閉をなるべく少なくしましょう。



雨水ますの防蚊対策について

殺虫剤の過剰な散布は、環境への悪影響につながります。1週間に1~2回程度、雨水ます周辺に散水して泥だめ部の水を入れ替えましょう。

どうしても殺虫剤を使用する場合には、他の生物に害が少ないと言われている

昆虫成長阻害剤(IGR剤)を使いましょう。使用にあたっては、使用上の注意をよく読み、使用量は最小限に留めましょう。



お問い合わせ先：生活衛生課 環境衛生係（鶴見区役所2階14番窓口） ☎ 510-1845 FAX 510-1718

バックナンバーはこちら <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/life/kankyo/wakkuntushin.html>